

穀物乾燥機

復旧に向けての処置方法

安全にご使用いただくために

1. 作業時の服装



専門知識が必要な作業、危険な高所作業が伴う場合は、ご購入先へご相談ください。

※高所作業は行わないで下さい。(乾燥機の屋根には危険ですので上らないでください)

※水害後の機械の通電は感電・燃損等の恐れがあり危険です！安全が確認できるまでは電源は投入しないでください。

安全にご使用いただくために

2.十分に乾燥させる

<室内、作業場>

カビに侵される危険があります。

- ・窓を開け通気を良くする。
- ・可能であればエアコン、除湿機などを使って乾燥させましょう。



安全にご使用いただくために

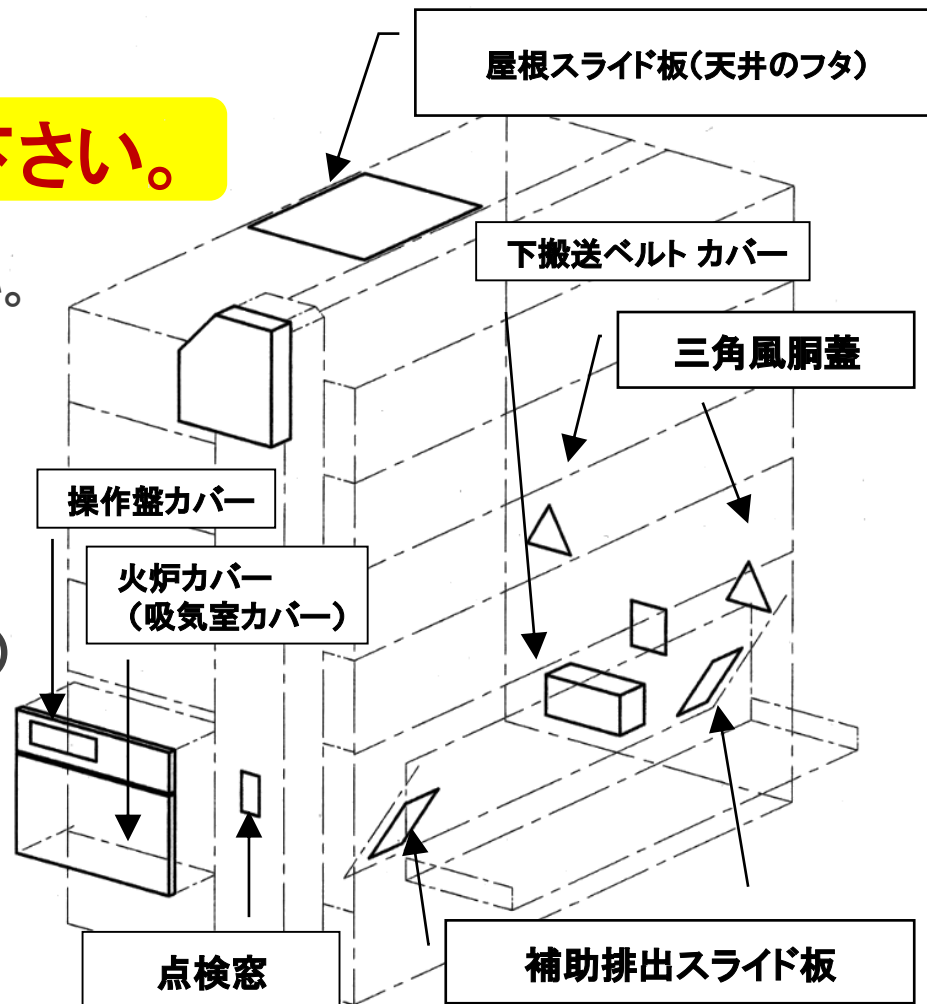
3. 浸水してしまった場合

電源は絶対に投入しないで下さい。

⇒感電・焼損などの危険性があります。
完全に乾くまでは電源を入れないで下さい。

【手順】

- ①カバー類を外す。
- ②ブラシや洗車機等を使用し、水道水できれいに洗い流す。
(水が引いたら、できるだけ早く行う)
※シャッタードラム内部とバーナ本体・炉体内部の洗浄も忘れずに。
- ③乾かす前に水滴を飛ばす。
エアガンやブロワなどを使用し水滴を極力残さないようにする。



安全にご使用いただくために

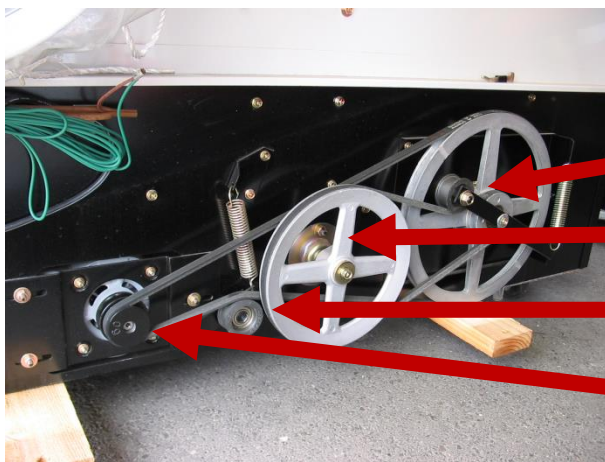
販売店様専用

4.交換部品の手配がつかない場合

洗浄によって一時的に使用可能になる場合もありますが、**浸水した部品は交換が原則**です。洗浄乾燥して再利用する部品は、いかなる場合においても保証対象外となります。ご了承くださいますようお願い致します。

①電源は絶対に入れない

②分解して洗浄する



軸受け
(ベアリング)

テンションプーリ

下搬送モータ

操作盤も少し濡れた程度であれば一時的に使用できる可能性があります。

基板を取り外して水道水で洗浄し、水滴をブロアなどで吹き飛ばした後、完全に乾くまで陰干しします。可動部は汚泥が入り込んでいますので分解洗浄が必要です。またベアリングはシールから水や泥が浸入し徐々に劣化し、やがて損傷します。